

活用場面

BI・CI

目的をもって即興的なやり取りを行う学習

個に応じ、正確さを高める指導を意識した学習展開

活用したソフトや機能：スライド、動画撮影、メモ、アンケート

学年：中学校第1学年 教科：英語

単元名：Unit 8 A Surprise Party

○ 本時について(7/10)

(1)ねらい

・互いの学校外の様子を知るために、写真の状況を説明したり、相手に質問したりして、放課後の生活について紹介し合うことができる。

(2)評価規準

・互いの学校外の様子を知るために、放課後の自分の生活について伝えたり、相手に質問したりして伝え合っている。【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 Small Talk ・写真を見せながら、自分が何をしているところなのか説明する。	【導入】コミュニケーションの目的を明確にし、言語活動に必然性をもたせるために、動画を視聴する。 
展開	2 学習の見通しをもつ。 ・日本での生活に興味のあるALTの家族が、「日本の中学生の家庭での生活について知りたい」と話している動画を見て、コミュニケーションの目的を明確にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's talk about our after school activities.</div>	
終末	3 Activity① A: I am studying English. B: Do you like English?	【Activity】自分の家庭での生活を説明するために、写真を提示する。
	4 中間交流、学習状況アンケート ・「しているところだ」と説明するには、現在進行形を用いた方がよい。 ・どんな内容を話したら、日本の中学生の家庭での生活が分かりやすいだろうか。	【中間交流～Activity②】Activity①の後に生徒が行った自己評価をもとに、Activity②で個別の支援をする。
	5 Activity②	【Writing】最後の発話を録音し、自分の発話を確かめる。文に起こすことで正確さを高める。
	6 Writing <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">I am studying English. I like English very much. I study every day.</div>	

活用の際のワンポイント！

- ICTを活用することで、即興のやり取りであっても、内容を整理しながら話すことができます。
- アンケート機能を使って実態を把握することで、学習の途中で苦手意識をもっている生徒を把握し、後半の活動での支援に役立てることができます。

実践提供校：恵那市立恵那北中学校